



農村伝道神学校後援会だより NO. 117

農伝の思い出

中野教会牧師 島田勝彦（19回卒）

農村伝道神学校は伝道者として備えられた原点となりました。1966年のことです。一般の入学先と違って受験のはしごはできませんから、ずいぶんとあちらこちらの神学校をお訪ねし、それなりに内容調査しながら受験先を準備したものです。結果的に、ただただ導かれるままに農伝に入れて頂くことになったのですが、振り返ればその後の準備の時、また現場でのこれまでの歩み、すべて主の導きとし言いようがありません。

高校1,2年生の夏休みに、瀬戸内海に出かけ日本バプテスト同盟の「福音丸」のお手伝いに参加しました。島々を巡る伝道プログラムの中で、陸の孤島のようなところにも伝道する者になりたいという志を与えられたのです。今思えば傲慢にも伝道者以外でも人々に接することができるものに、と言うことで、まず獣医師の資格を取りました。その結果、牛も豚も鶏もいる農村伝道神学校に導かれたのかと思います。しかし、全く畑違いの学びをたった3年で卒業と言うことに成り、東神大の大学院に進むことにいたしました。しかし、同時に卒論指導教授の興梠正敏先生からフィリピンのユニオン神学校（メソジスト系）のお話があり、二年間の留学生活に入るようになりました。

当時、東神大は学生と教授陣の間にカリキュラム問題で対立があり、小康を得たものの、結局周囲の大学運動の影響もあってか、留学中、ロックアウトの重大事件が起きてしまったのです。帰国後は、フィリピンでの学びが修士として認められ、再開した東神大の博士課程に籍を置くことになりました。併せて、農伝は経済的な困窮もあって、保育科廃止、東南アジア指導者研修所はアジア学院となって西那須野に誘致され移転独立となりました。そうした母校の大きな変革時に、旧約学担当の非常勤講師として3年ほどお招きを戴きました。やはり伝道者としての原点はここ農伝にあります。その創立に関わった先達方や、農伝本来の先輩方に培われた農村伝道の姿勢は決して修正されるものではなく今も日本伝道の土台として生きているからです。

母教会は、横浜の清水ヶ丘教会。そこで、3年ほ



島田勝彦牧師

ど伝道師を、大先輩の渡辺正男先生のあとをと言うことで町田市の玉川教会で14年、母教会に呼び戻されて25年、そこで70歳直前に成り隠退することにいたしました。老化は人それぞれとっていましたが、だんだんとその年に近づくとどうしてもなく衰え、そのために教会の成長にブレーキをかける結果を見て、自らの区切りを定めたつもりでした。ところが、この牧師不足の時にと叱咤激励され、隠退後の身辺整理もままならない内に東京は中野教会からご招聘を受けて今あるのです。

若き日の願いは、家畜と人間のいる地域でしたが、結局町中伝道の毎日となりました。しかしこれまでの学びや経験は決して無駄ではなかった、むしろその一つ一つが主の福音伝道に用いて頂いた実感がいたします。たまに地方の教会に招かれて、酪農、農業に携わる人たちと会話ができること、また旧約の、特に祭儀の内容理解、翻訳上の是非、聖書を文学的考察だけでなく、自然科学の視点をもって深く読みこなす術を与えられ、その豊かさに感嘆するばかりだからです。

図らずも農伝卒業後ちょうど50年経ちました。1969年卒業以来、神の真実に支えられ、恩師、同窓の兄弟姉妹の交わりの中に伝道者としての生涯の勤めを何とか果たしてこられたことを感謝しています。



日本基督教団中野教会の屋根



荻窪教会を迎えて

農伝の森で森林浴、リフレッシュできる、農伝遠足に来られませんか？
季節によってお茶摘み、野草摘み、野草茶づくりや、禅キリスト教・座禅会などご希望の計画を学校へご相談下さい。今回マイクロバスで到着した荻窪教会の皆さんは、農伝の森や畑をゆっくり散策されました。当日の感想文を荻窪教会ミリアムの会(婦人会)武内道子さんに頂きました。

5月15日日本基督教団荻窪教会の会員22名で農村伝道神学校を訪問いたしました。当教会の小海牧師が理事として、また礼拝学・教会音楽の教鞭を執る講師として関わってこられた関係で、関心を寄せてまいりました農伝の十数年振りの訪問です。

到着した丘の上は、深い緑に囲まれ同じ東京とは思えないほどの涼しさ、爽やかさでした。礼拝堂に入ると正面に掲げられた大きな竹製の十字架が目に入ります。四角く育てた竹を使い、農伝20周年記念として、礼拝堂と鶴川教会とに作られたとお聞きました。

10時からの礼拝は、賛美歌418、聖書-ローマの信徒への手紙1:1～17について卒業生の沼田弘行さんのお説教があり、パウロが異邦人伝道に臨んで述べている11節「“霊”の賜物をいくらかでも分け与えて…」の箇所は、農村への宣教を目指す神学校の理念に他ならないということを感じました。

礼拝に引き続き、ウィットマー校長先生による農伝の歴史、11名の神学生の紹介があり、ふだん「ひとつぶ献金」で支えている方々を具体的に覚える機会となりました。その後本館内を見学しました。右側の廊下には長い歴史を物語る写真の数々、左手にはストーン宣教師

夫人の名を取って作られた中庭の“Jean's Garden”があって、興味深く拝見しました。

昼食後は広いキャンパスを散策し、大きなイチョウの下に落ちている銀杏を踏み分けつつ、隣接する陸上競技場建設の以降から枯れ始めてしまったと言われる元栗林等を見、グリーンチャペルで記念写真を撮りました。半円形のベンチは毎日通ってくるシオン幼稚園の園児たちのトンネル遊具にもなっています。あちこちの木からぶら下がる毛虫に驚かされた散策でもありました。

これからも農村・地方教会に仕える働き人が数多く送り出されますよう心より願い、実り多い一日を感謝して帰途に着きました。

日本基督教団荻窪教会 ミリアムの会 武内道子



畑で説明を聞く荻窪教会の皆さん

(写真提供は上下 市川義和さん)



小海牧師(前列左)とウィットマー校長(前列左二人目)と荻窪教会の皆さん

農伝4年 上杉理絵

[illegible]

中庭のアイドル



製作中のビワの葉茶



農伝の森から拾った木の葉を 1 枚、厚さ 2〜3 ミリの粘土板のうえに置いて、丸棒で圧力をかけて転がすと葉脈がくっきりと写り、周りを切り抜きペンダントやお皿ができます。2016 年から多摩市連光寺に陶芸室を持つ宮澤恵先生の指導を受けて、キャンドルスタンドやペーパーウェイトづくりを重ねて、オリジナル 70 周年記念グッズが生まれました。小海基牧師が韓国で出会い持ち帰った膨らみのある十字架を、神学生が再現し幾つも制作できるようになり、後援会では小鳥や小さい十字架の型紙を作り、ギリシア語イクトウス（ΙΧΘΥΣ）の文字が浮かぶ魚のペーパーウェイトも完成しました。聖書で親しい魚、農伝の森の木、小鳥、韓国からの十字架、農伝 70 周年記念グッズにふさわしい作品を写真でご覧ください。どれも裏面か表面に「のうでん 70」「NOUDEN70th」などと刻まれています。陶芸グッズづくりはどなたでもできます。一緒に作りませんか。



魚のペーパーウェイト

500 円



釉薬かけ前の作品です



十字架のペーパーウェイト

500 円



小鳥ペンダント

200 円



農伝木の葉小皿

200 円



十字架・木の葉ペンダント



200 円

2019 年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2019 年 2 月 21 日～2019 年 5 月 31 日 () 内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援会献金 (団体)	後援会献金 (個人)	宮島 星子 5,000 大和 繁 10,000 ロバート & 圭子ウィッ トマー 40,000(4) 渡辺 好子 5,000 渡邊志津枝 41,500 合計 38 件 金額 460,000	下谷教会 20,000 白鷺教会 10,000 西条栄光教会 6,000(2) 茅ヶ崎恵泉教会 10,000 東美教会 3,000 豊島岡教会 5,000 新潟教会 5,000 二宮教会 10,000 野幌教会 5,000 東中野教会 10,000 福岡女学院教会 5,000 本多記念教会 10,000 幕張教会 26,000 松本教会 10,000 明治学院中学校東村山 高等学校 30,000 大和教会 5,000 合計 32 件 金額 300,648	勝亦 一江 5,000 上地 武 3,000 加山 久夫 5,000 川崎 トシ 5,000 木下 良子 5,000 小西さい子 3,000 小林利明・恒子 4,000 坂本 梅子 10,000 佐藤 節男 10,000 佐藤 義弘 10,000 佐藤美智子 5,000 菅原 国夫 10,000 杉船 紀子 2,000 田中和三郎 20,000 津村有紀子 5,000 中野 房子 2,000 並木 浩一 5,000 野副めぐみ 2,000 深澤 正勲 2,000 福澤 益代 5,000 前田 直子 10,000 前地 洋美 5,000 三木キン子 10,000 向井 希夫 10,000 吉田 劭 2,000 渡邊美恵子 100,000 匿名 100,000 合計 34 件 金額 404,000	ひとつぶ献金 生田教会 184,500(2) 隠岐教会 3,000 荻窪教会 66,500(2) 上大岡教会 13,350 軽井沢追分教会 8,400 川和教会 66,377 杉並教会 16,000 世真留教会 25,200 相武台教会 1,000 鶴川北教会 58,900 鶴川教会 41,900 東梅田教会 27,400 日野台教会 23,000 松本筑摩野伝道所 まぶね教会 1,400 水元教会 9,200 横浜二ツ橋教会 16,300 竜ヶ崎教会 28,600 合計 20 件 金額 607,027
岩槻教会 10,000 大分教会 5,000 大船教会 5,000 草津教会 10,000 信濃町教会聖和会 10,000 信濃町教会婦人会ぶどう の会 30,000 逗子教会 20,000 捜真女学校中学部高等 学部 13,000 高崎教会 5,000 玉出教会 20,000 鶴川シオン幼稚園 40,000 鶴川シオン幼稚園クロ バーの会 206,000 那須塩原教会 10,000 日進教会 5,000 東広島教会 5,000 丸岡栄光学園緑幼稚園 10,000 八重山中央教会 30,000 安岡教会 10,000 よきサマリヤ人伝道所 20,000 代々木上原教会 10,000 六角橋教会 30,000 合計 21 件 金額 504,000	飯野真理子 5,000 市村 翠 3,000 伊藤 武子 30,000 井上したふ 3,000 大野朝男・寿子 3,000 鹿島正安・郁子 2,500 神谷真由美 3,000 川谷 恵子 5,000 木田みな子 10,000 公森 健郎 20,000 久保 博夫 6,000(2) 小手川 到 5,000 後藤美紀子 5,000 斉藤 圭美 2,000 斉藤隆子・仁一 10,000 三宮 千枝 3,000 島 しづ子 100,000 清水 幸江 5,000 高井 好子 5,000 高柳めぐみ 5,000 常岡 容子 10,000 中島 幸人 50,000 西村保典子 15,000 八田満千子 10,000 服部 道子 3,000 原 誠 5,000 土方満喜子 5,000 星 健治 20,000 三原 仁子 10,000	愛川伝道所 30,000 会津農村伝道センター 5,000 池袋西教会相愛会 10,000 石橋教会 5,000 大宮教会婦人会 20,000 荻窪教会ラオス会 5,000 奥中山教会 2,000 渡島福島教会 10,000 金沢八景教会 10,000 川和教会 10,000 共愛学園前橋国際大学 5,000 高座渋谷教会 5,000 交野教会 5,000 小倉日明教会 4,000 シオン幼稚園卒業記念 委員会 4,648	飯島 隆輔 5,000 稲垣 壬午 5,000 稲益鉦二・久仁子 20,000 犬養 光博 2,000 井上 富子 2,000 宇高 育枝 5,000 織田 信行 10,000		

2018 年度農村伝道神学校後援会会計報告

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日現在

収入の部 (単位: 円)					支出の部 (単位: 円)		
費 目	2018 年度		前年度		費 目	2018 年度	前年度
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)			
後援会費 (団体)	81	1,486,512	84	1,350,300	神学校献金	8,710,000	9,655,000
〃 (個人)	236	2,222,900	200	2,306,820	通 信 費	525,435	442,011
記念日献金 (団体)	343	3,148,058	289	4,285,108	印 刷 費	598,505	525,439
〃 (個人)	197	1,794,130	225	1,461,500	事 務 費	643,230	547,780
ひとつぶ献金	37	1,278,627	44	1,395,800	グッズ材料費	57,520	30,664
コンサート		158,642		191,450	その他	0	0
グッズ		287,600		251,550	振替手数料	94,578	90,859
繰越金		313,303		362,528	繰越金	60,504	313,303
合 計	894	10,689,772	842	11,605,056	合 計	10,689,772	11,605,056

献金状況と 2019 年度のお願い

2018 年度も、多くの皆様のお祈りとお支えによる尊い献金約 870 万円を農村伝道神学校へ捧げました。献金は目標額には至りませんでしたが神学校財政にとって大きな柱となることができました。上記 2018 年度会計報告をもってご報告し感謝申し上げます。後援会は、2019 年度も農村伝道神学校の年間計画を支えその実行を確かなものとするため、「1000 万円の献金を捧げる」目標といたしました。これは、前年度献金額の約 15% 増の大変困難な目標ではありますが、どうぞ引き続きお支え下さいますよう、また新たに農伝をご支援頂ける方々をお誘い下さいますよう宜しくお願い致します。

事務局だより

◇ 2 頁に荻窪教会の「農伝遠足」をご紹介致しました。2006 年に次いで 2 度目の遠足の場を選んで頂きました。大森寿和子さんから今回武内道子さんへ、農伝へのお支えが確実に引き継がれていることを感謝しております。

◇ 3 頁の Jean's Garden と農伝の御茶、70 周年グッズ製作中のご紹介など、後援会と神学生の共同による活動が活発に行われるようになり、とても頼もしく学校への深い思いを皆様にお伝え出来る事に感謝しています。

発行 農村伝道神学校後援会
会 長 島しづ子
事務局長 古川力也

〒195-0063 東京都町田市野津田町 2024
TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711
E - メール: noden@pony.ocn.ne.jp
ホームページ:
<http://www.noden.server-shared.com>
振替番号 00120-6-24418